江戸城かわら版
NPO 法人 江戸城天守を再建する会

こんてんつ

会員優待企画が好評 ……1
サロン,ツアーの状況 ……2
れきしクンのアンケート ……3
武楽／Samurai Art の世界……4
花押とは決意を込めた署名 …5
三浦先生特別寄稿⑧ ……6
新規入会者・寄付者紹介……7
行事予定・お知らせ ……8

新元号第１号
令和元年７月１日 第 52 号

江戸城サロン/散策ツアー等会員優待企画が好評
皇居東御苑散策ツアーのガイド陣を増強

副理事長
寺村信行

会員優待と会員入会勧誘を目的とした皇居東御苑散策ツアーを実施しています。会員は無料で参加でき、1 回定員 25 名で、2 月から 5 月までの間に 6 回開催しました。

東御苑散策ツアーの参加者は累計 123 名、その中から新規入会者が 37 名生まれました。これまで本会開催の江戸城散策ツアーのガイドをお願いしてきた黒田涼さんの手が足りず、平川敏彦さんと斎藤督さんに新たに案内人として登場してもらいました。

その後、6 月 15 日の予定があいにくの大雨のため中止されて、現在、6 月 25 日(火)、7 月 6 日(土)(雨天中止の場合 7 月 7 日に振替)、7 月 20 日(土)が予定されています。

平川ガイドと、講座を受けた新ガイドの顔ぶれ

大宮北支部長
平川敏彦氏

墨東支部長
塚本一夫氏

世田谷第一支部長
小池正夫氏

浦和支部長
黒木英俊氏

大宮桜木支部長
松山　朗氏

会員
鈴木俊也氏

斎藤督・案内人が担当した東御苑散策ツアー↓

100 万人賛同署名運動推進中！ 55,959 筆 （6 月 6 日現在）

このあと、盛夏の 8 月はお休みにして、9 月から 11 月中旬の大嘗祭までは、大嘗宮造営中の東御苑を避けて、桜田門から平川門に至る江戸城お堀端歴史散策ツアーに替えます。その際 1 回当たり 5 名以上参加なら実施することにして、毎週土曜日開催する方向です。

大嘗祭後は、東御苑に戻って大嘗宮及び天守模型観覧ツアーを開催する予定です。

このように、散策ツアーの開催頻度を高める予定に備えて案内人を増やそうと、平川さんにガイド養成講座をお願いしたところ、4 月 17 日に「江戸城基礎講座」が開かれて 16 人が学びました。

その講座の中から、1 頁に写真を掲載した 5 名が新たに名乗り出てくれたという次第です。7 月以降、新しい方々にもガイドをお願いしていきます。

江戸城サロン／皇居東御苑散策ツアー　予定＆参加状況

江戸城サロン一覧

日付		演題	講師	参加人数		
					うち一般	当日入会
3/30	土	お城好き・ネクストジェネレーション	長谷川ヨシテル	38	7	0
4/13	土	会津初代藩主・副将軍 保科正之と明暦の大火	平川敏彦	32	4	1
5/11	土	太田道灌の活躍による江戸時代の幕開け	太田資暁	43	5	2
6/1	土	江戸城無血開城　真の功労者 山岡鉄舟	永冨明郎	38	7	1
7/19	金	平成お城よもや話	長谷川進			
8/31	土	吉田松陰と明治維新①	長谷川勤			
9/7	土	吉田松陰と明治維新②				
10/9	水	江戸東京博物館常設展ガイド付き見学	博物館のVｶﾞｲﾄﾞ			

長谷川進氏

皇居東御苑散策ツアー

日付		散策ツアーの特徴	ガイド	参加人数		
					うち一般	当日入会
4/20	土	3時間コース	黒田　涼	25	8	7
5/18	土	3時間コース	平川敏彦	24	9	8
5/25	土	3時間コース	黒田　涼	22	9	8
6/15	土	大雨のため中止	斎藤　督			
6/25	火	暑さに備えて午前10時開始（昼食ｶﾚｰﾊﾞｲｷﾝｸﾞ予定）	斎藤　督			
7/6	土	暑さに備えて午前10時開始	平川敏彦			
7/7	日	7/6雨天中止の場合の予備日（午前10時）	斎藤　督			
7/20	土	暑さに備えて午前10時開始	鈴木俊也			

代表案内人　黒田涼氏

全国の支部長紹介(5)

港支部長
湯原信一氏

港第二支部長
渡辺俊之氏

慶応大学支部長
森重浩之介氏

横浜神奈川支部長
三島和徳氏

千葉第十支部長
金坂秀雄氏

富山氷見支部長
余川外次氏

※No. 51 掲載の湯原さんのお名前に間違いがありました。お詫びしつつ直して再掲載します。

江戸城天守再建の動きを知っている人は半分くらい・・・

歴史作家（れきしクン）長谷川ヨシテル

3 月 30 日、江戸城サロンの第 1 回に、歴史作家の長谷川ヨシテルさんを招いて講演をお願いした。「お城好き♡ネクストジェネレーション」と題して、若い世代に天守再建を訴える切り口等について語ってもらった。そのとき披露してくれたアンケート結果を紹介する。

長谷川氏はこの講演のネタとして、自身の Twitter フォローワーに呼びかけてアンケートを行ってくれた。

【問】あなたは「江戸城」を訪れたことがありますか？(438 票)

52% ある！

8% あったと思う…

37% ない！

3% すいません、江戸城ってどこ…？

【問】1457 年に江戸城を建てた人物を知っていますか？ (418 票)

42% もちろん！

23% 多分あの人ですよね

21% ちょっと自信ないです…

14% 知らないよ！

【問】お城で特に好きな部分はどこですか？(426 票)

35% 天守、櫓

38% 石垣

11% 堀、土塁

16% 縄張り、立地

【問】お城の天守や櫓、城門などの復元についてどう思いますか？(334 票)

58% あった場所に、あった姿で忠実に復元すべき！

27% 観光用のために、ある程度の妥協は必要！

3% 予算がもったいないから、造らなくて良い！

12% どちらでも良いっす！

【問】名古屋城の天守の木造復元についてどう思いますか？(303 票)

29% 天守の忠実復元が可能なのは名古屋城だけだから賛成！

20% 単純に観光した時に見てみたいから賛成！

38% 問題点（石垣の調査、予算など）はあるが概ね賛成！

13% 問題点が多いため反対！

【問】江戸城の天守を復元する動きがあることを知っていますか？(391 票)

25% 知っている！

23% 聞いたことはあるけど、詳しくは知らない！

50% 全く知らない！

2% 知らないっていうか、江戸城に天守あったの？

【問】江戸城の天守を復元することに関してどのように思いますか？(355 票)

45% 天守の図面も残り、観光名所になると思うので賛成！

21% 現存の天守台に、天守が建ったことはないため反対！

30% CG や模型など、別の形での復元で良いと思う！

4% 江戸城？天守？天守台？何の話？

講演終了後、著書の即売サイン会には長蛇の列ができた。3 点をまとめ買いする方が多かったが、すごい勢いで 3 点ともにサインしてくれた。

『ヘッポコ征夷大将軍』柏書房（2018 年 11 月）

『あの方を斬ったの…それがしです』ベストセラーズ（2018 年 3 月）

『ポンコツ武将列伝』柏書房（2017 年 12 月）

「武楽」「Samurai Art」の世界とは

「武楽」とは、ありそうでなかった名称だと思う。これまで「武道」と言っても「武楽」と言わなかったのは、武術を磨く武士の鍛錬から受ける印象と「楽」が相入れなかったからだろうと思っていた。

本当にそうだろうか。否、「武」には「美」が内在していると、「武楽」創始者である源光士郎氏は言い切る。だからこそ「武の美」を芸能とするため「武楽」を生み出した。同じく「楽」がつく、「神楽」「雅楽」「能楽」などの系譜の新しい日本の芸能と位置付けている。

「武」には武士、武士道、武道が、「楽」には日本の伝統芸能や奏楽の意味がこめられ、総じて、武士文化の美を表現する「武楽」を「Samurai Art」とも称している。「Samurai Art」とはよい響きだ。なるほど、「武」と「楽」は出会うべくして出会ったのだ。

では「武楽」という芸能で、どのような表現がされるのか。「武楽」には三要素を結集したという。
(1)居合、剣術、棒、薙刀など伝統武術のもつ機能美
(2)武家の式楽「能」の世界観と所作
(3)武士の嗜みであった琵琶、鼓、笛など「和楽」の演奏（音と音との「間」を重視）

源光士郎氏は、武術と芸術との両方で研鑽を積んできた人だ。武蔵野美術大学にてデザインを学び、芸術家として 20 年間研鑽した。一方、武道歴は 30 年に及び、表現活動と並行して室町時代中期に創始された古武術である「香取神道流」も学んだという。「美」を深く学んだ人が「武」の世界で「武の美」を見つけたというわけだ。

「武の美」を追求した動きを芸能として上演して、多くの人々の心をゆさぶり、ひいては「武」という字の成り立ち（「二」つの「ほこ」を「止」める）が意味する平和な世界づくりに貢献するという目標を見つけたのが 2005 年。翌年には「武楽座」という芸能団体を設立した。

それからというもの、日本のみならず、世界でも積極的に上演活動を行っている。源光士郎氏の代表的な演目は、織田信長公に扮しての「敦盛」や源義経公の活躍を描く「屋島」など多数ある。源光士郎氏の背中を見て、他に多くの人材が育っている。

では「武楽座」の強みとは何か。

ひとつは、「武の美」を求めるために、決して「武」を武士から切り離さないことだ。映像やショーの殺陣が竹光でないとできない動きもあるのに対して、「武楽」では本物の武士が研鑽した武芸由来の動作と能の世界観とのマリアージュを見ることができる。

もうひとつは、かつて明治政府を担うひとりであった新渡戸稲造が欧米列強に対して、日本人が精神的支柱として武士道をもっていることを知らしめるために最初から英語で『Bushido: The Soul of Japan』を書いたように、海外に積極的に出て行くところだ。その結果、GUCCI４代目グッチ・オ・グッチ氏ほか海外の著名人にも認められた。

「武楽座」はその演目を、サントリーホールのような一流のホールでのオーケストラとの共演から、世界遺産の建物や遺跡広場の一角での公演まで、限られた舞台でないと上演できない日本の伝統芸能では考えられないような場所でもかろやかに上演してしまう。

その結果、世界遺産フィレンツェのサンタ・クローチェ聖堂、フランスのオーヴェル城、ドイツのザイン城、モスクワの国際音楽堂、ローマ、ロンドン、エルサレム、上海、ベトナム、サンパウロのほか、この 6 月にはベルリン Samurai Art Museum にて刀剣武具の展示の中で２度目となる公演・ワークショップを開催するなど、公演実績を急速に拡大中だ。

※上演映像はこちらを。
http://bugaku.net/movies/
※「武楽座」では体験を受け付けております(有料)。
https://bugaku.net/taiken/

「花押」とは、決意を封じ込めた署名

年始に東京国際フォーラムで開催した「新春お城びより」の中に、日本花押協会から花押ワークショップのテーブルを常設してもらった。その「花押」の現状について取材した。

「かおう」と聞けば「花押」より「花王」を思い浮かべる時代になりました。

「花押」はそれをデザインする際、日本人らしい含意や機知を盛り込むことができる、自分を証明する署名なのです。ところが、多くの日本の伝統文化を次世代に引き継いでいく際の危機から逃れていない現状があるという。

テレビや映画の時代劇で、戦国武将や大名が墨で手紙をしたためるとき、末尾に日付と署名を書いている。この署名が日本式の「花押」だ。手紙の最後に花押を書くのは、書いた人物を証明するためだ。花押は花押を書いた人物そのものなのだ。

こうした花押がなぜ一部の世界を除いて日本から消えてしまったのか、なぜこれを復活させようと思ったのか、2017 年設立の新しい団体である一般社団法人日本花押協会だ。同社団は現代に合った形で花押の再興を目指している。

花押の語源は「書いた花押が花の様に見えたからという。そして「花押」の「押」は「署名」の意。花押とは花のように見える署名を意味している。

ところが、署名と言っても「花押」の場合は漢字氏名を単にくずしたものでないことがほとんどだ。戦国時代では、名前ではなく好きな漢字を自分の花押に使うことが流行った。ちなみに織田信長の花押は麒麟の「麟」の一文字からつくられている。

麒麟は古代中国の想像上の生き物で、天下泰平の世にしか姿を見せないと言われていた。織田信長公がその麒麟から自分の花押をつくったことには、自ら天下を平定しようという想いをこめたからと推測できる。

このように花押には自分の想いや決意を込めて作ることが可能だ。

日本花押協会は、現代表理事の瀬川和哉氏のひらめきからはじまったそうだ。ある日突然、自分の花押を作ってみようと思い立ったという。その相談を受けた、後に副代表理事となる渡邉政良氏がネットを駆使して日本の花押の歴史を調べたところ、欧米言語のサインが持ちえない漢字文化のおもしろさが詰まっていることを見出した。

また、調査の結果、日本に花押の普及活動がほとんど行われていないこともわかった。そこで、みずから一般社団法人「日本花押協会」を 2017 年７月に設立し、花押という伝統文化を残すとともに、花押をきっかけに世界中に日本の歴史や書道に興味を持ってもらう活動を始めたという。

※映像による紹介を見たい方は「日本花押協会」のサイト http://kaou.or.jp/ をご覧ください。
※人生の記念日や節目に、あなたの花押を作って入れた甲冑姿の写真を撮る有料サービス実施中。
https://samurai-pictures.jp/service/plan/kaou/

特別寄稿『歴史に残る名城の天守』

＜第8回:松本城乾小天守（松本城初代天守）＞

広島大学名誉教授
三浦 正幸
（当会特別顧問）

国宝松本城は、五重六階の天守を中心にして小天守(こてんしゅ)や付櫓(つけやぐら)などが従い、合わせて五棟の建物で構成されている。

まず、天守の北側に三重四階の乾(いぬい)小天守を建て、天守との間を二重二階（および半地下一階）の渡櫓で連結している。天守と小天守を渡櫓で連結させた形式を連結式という。また、天守の東南に二重二階の辰巳(たつみ)附櫓を連ねる。天守に直接に付櫓や小天守を接続させた形式を複合式という。松本城天守では、連結式と複合式が組み合わされているので、複合連結式ともいうが、これは全国唯一無比の形式なので、特別な呼称を当てるのは賢くない。連結式と複合式、あるいは松本城式というべきであろう。そしてさらに複雑なことに、辰巳附櫓の東側に一重一階、半地下一階の月見櫓が接続している。

別に松本城に恨みはないが、名称には違和感を覚える。この小天守は乾（戌亥(いぬい)と同じで西北の意）を冠しているので天守の西北に位置するはずなのに、実際はほぼ真北にあって、北小天守というべきであろう。「北」という趣を嫌って、縁起のよい西北を選んだかもしれないし、姫路城天守の北側にある小天守を東小天守と称していることからして、まあ認めておこう。しかし、辰巳附櫓はいけない。西北を戌亥ではなく乾と書くなら、東南は辰巳はなく巽(たつみ)と書くべきであろう。また、「附櫓」は他城で一般的に使われている「付櫓」と書いていただきたい。

さて、前置きが長くなってしまったが、松本城の全国一複雑な天守群は同時にできたものではない。五棟の建物のうち最初に建てられたのは、乾小天守であった。もちろん、その時は小天守ではなく、松本城天守として建てられたものである。その後、五重天守と渡櫓が増築されて、最初の天守は乾小天守に改造された。さらに年代が降って辰巳附櫓と月見櫓が増築されて、現在のような複雑な天守形式が誕生したのである。

松本城の歴史は古く、築城（古くは深志(ふかし)城という）は中世に遡る。その当時、全国では山城が当たり前で、松本城のような完全な平城は珍しく、極めて先進的であった。それは、信濃国が険しい山脈地帯なので、山城に適当な高さの山が少ないからだ。松本城をはじめ松代城（長野市）・高島城（諏訪市）は完全な平城で、河岸段丘上の平地に築かれた上田城や高遠(たかとお)城もいわば平城である。

松本城は天文 19 年（1550）に武田信玄の領有となり、天正 10 年（1582）に武田氏が滅亡すると、旧主の小笠原貞慶（当時は徳川家康の家臣）が城主に返り咲き、城を大修築した。

ところが、天正 18 年（1590）の家康の関東移封にともない、小笠原氏も関東へ移り、松本城は豊臣秀吉から石川数正に与えられた。数正はもと家康の重臣だったが、秀吉に引き抜かれ、松本城主八万石に抜擢された。秀吉は家臣の城に石垣と天守を築くことを求めていたらしく、数正によって松本城に初めて石垣と天守が築かれた。その時の天守が現在の乾小天守で、文禄元年（1592）頃に完成したと考えられる。熊本城古天守だった宇土櫓とともに、現存最古の天守建築である。

現在の乾小天守は層塔型の三重四階であるが、文禄創建時は旧式の望楼型であった。一階と二階は同大平面であって、6 尺間（約 1.82m）で平五間、妻四間の規模である。天守は一般的に京間の 6 尺 5 寸間（約 1.97m）が用いられ、江戸間（田舎間）の 6 尺間を用いるのは例外的であるが、数正がもと三河の岡崎にいたから江戸間が使われたのであろう。後に再度松本城主となった小笠原氏が建てた松本城天守には 6 尺 5 寸間が用いられている。

また乾小天守の一階には、24 本中 12 本に丸太柱が使われていることにも注目したい。特別に太さが必要な心柱（大柱）に丸太柱を使った例はあるが、このように大量に丸太柱を使った例はなく、極めて異例である。

←乾小天守

乾小天守 1 階の丸太柱→

さらに層塔型天守では基部の入母屋造の大屋根がないので、その中にめり込む屋根裏階もできないが、この乾小天守の三階は正しく望楼型天守に見られる屋根裏階である。したがって、創建時は、一階と二階を同大に設けた二重二階の入母屋造の大屋根の上に屋根裏階を介して物見（望楼）を載せた、三重四階の旧式な望楼型天守だったと考えられる。

慶長 20 年（＝元和元年、1615）に五重天守を増築して旧天守を乾小天守に改造した際に、基部の入母屋破風が撤去されて層塔型天守になったのであろう。なお、現存する渡櫓（6 尺 5 寸間を使用）にも 2 本の丸太柱が使われているので、旧材の一部が転用されているようである。

なお、松本城の五重天守や月見櫓などについては、回を改めて紹介したい。

江 戸 城 寄 席

今年も恒例の「江戸城寄席」を開催します。
時：9 月 14 日（土）開場午後 6 時　開演午後 6 時半
場所：千代田区立内幸町ホール
（東京都千代田区内幸町 1-5-1、電話：03-3500-5578）

プログラム
一、開口一番　金原亭　乃々香
一、落語　　金原亭　馬太郎
一、講談　　一龍斎　貞　花
　　お仲入り
一、漫才　　ロケット団
一、落語　　金原亭　伯　楽
　　大入叶

◆木戸銭：会員前売：2,000 円／一般前売：3,000 円
◆お申込み方法：江戸城天守を再建する会 事務局
（月 ～ 木　10:00 ～ 17:00）Mail;info@npo-edojo.org
FAX;03-6423-1897／電話；03-6423-1882
事務局へ申込後、木戸銭を下記へ振込ください。
三井住友銀行神保町支店（普）2114645
名義：特定非営利活動法人江戸城天守を再建する会
※取消料：返金時の振込手数料はご負担ください。
9 月 12 日(木) 以降の取消は全額を申し受けます。

小学館「ビッグコミック」にて『江戸城再建』連載開始

黒川清作さんの連載デビュー作です。

小学館「ビッグコミック」6/25 号(6/10 発売)から連載開始。「ビッグコミック」は月 2 回発行。

東京江戸ウィークに出展します

9 月 20 日(金)～9 月 23 日(月・祝)、上野恩賜公園にて開催される「東京江戸ウィーク」にブースを出します。「三英傑の城」を共通テーマとして、安土城、大阪城、江戸城に関わるテーマを取り上げます。

江戸城サロン

江戸城サロン：お申し込みは事務局へ
・7 月 19 日（金）18 時 15 分から長谷川進氏による「平成お城よもや話」
・8 月 31 日(土)と 9 月 7 日(土)両日とも 13 時 30 分から長谷川勤氏による「吉田松陰と明治維新（2 回もの）」
・10 月 9 日（水）午前 11 時から、江戸東京博物館の常設展のガイド付き見学。10 名に 1 人の割合で館内ガイドを予約する。見学後館内で昼食を取ってから解散。
・11 月には漫画「江戸城再建」作者・黒川清作氏のトークショーを後援する予定です（開催日・会場未定）。

会員のみなさまへ【お知らせとお願い】

①「年会費納入のお願い」タイミング
それぞれの会員の入会月に次年度の「年会費納入のお願い」をお送りします。「かわら版」を同封することがあります。

②会費や寄付金の決済はクレジットカードで
カード決済が可能になりました。当会ホームページ http://npo-edojo.org/ からどうぞ。

③住所等変更届けのお願い
住所・電話番号などが変更になりましたら、FAX や電話で早めに事務局までお知らせ下さい。

④E メールアドレスの登録のお願い
E メールアドレスをお持ちの方は事務局宛にメールをお送り下さい。イベント等の情報をお送りします。

◆寄付の耳より情報：「日本の絆基金」寄付
「日本の絆基金」を利用して当 NPO 法人へ 1 万円以上ご寄付いただいた場合には税制上の優遇措置が受けられます。翌年の確定申告で約 4 割が戻ります。詳細は当会ホームページ http://npo-edojo.org/ の「寄付」の欄をご覧下さい。

NPO法人 江戸城天守を再建する会
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-5-7 神田中央ビル 505
◇電話 03-6423-1882 ◇FAX：03-6423-1897
◇E メール info@npo-edojo.org
◇ホームページ http://npo-edojo.org
◇Facebook http://www.facebook.com/npoedojo

東急リバブル
皆様の婚活をお手伝いします IBJ
東テク
ケイ・エム・エルジャパン株式会社